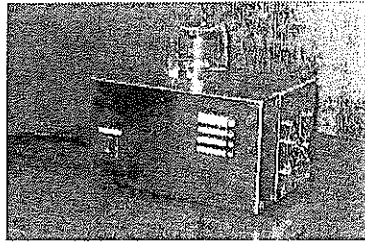


# 花・農作物を長期保存

## 大高商事 ラジカル発生装置



【宇都宮】大高商事（宇都宮市、高橋和夫社長、028・665・1911）は、花や農作物の長期保存に役立つヒドロキシ（OH）ラジカル発生装置「いきいきくん

」写真を開発、10月下旬に発売する。水分に紫外線（UV）を照射することにより、OHラジカルを発生させる。コンパクトサイズで既存の保冷库に設置できるほか、同社の保冷システムに組み込むことも可能。価格は1000個のロット生産で1台20万円の予定だ。同社は宇都宮大学の長澤武教授と共同開発した。UV管の付近に取り付けたスポンジ状樹脂に水分を供給し、OHラジカルを発生させる仕組

み。OHラジカルは強力な殺菌作用を持つとともに、エチレンガスを分解する。保冷库などに設置すれば、農作物を約60日間保存できるという。同装置は幅18・5センチ×奥行き13・0センチ×高さ11・5センチ（水ボトル設置時17・0センチ）というコンパクトサイズ。流通業界を中心に農作物用の保冷库、低温倉庫、花などのショーケース向けに販売する。10月28日に開催される「第7回国際フラワーEXPO」（幕張メ

ッセ）に出展し、受注を開始する。

同社はビル総合メンテナンス事業を主力に、農作物などの保冷システム「快蔵くん」の販売を手がけている。OHラジカ

ル発生装置は高付加価値化の一環として開発した。

今後、一般家庭向けに、さらに小型で容易に使える機種の開発に取り組む方針だ。